

2017年‘7/17

やまなし平和行進ニュース「あるこう」 No.6

山梨県内コース、行進の6日目です

7/17 (6日目)まとめ (甲府市-笛吹市コース)

- ◎ 行進参加者 71人 ◎ 甲府市・歓迎職員 2人、笛吹市・歓迎職員 3人 **合計 76人**
- ◎ 沿道募金なし、自治体募金なし (甲府市と笛吹市からペナント)
- ◎ ヒバクシャ国際沿道署名なし
- * 責任団体は、甲府市原水協。宣伝カーは山梨県労、ユーコープ、山梨民医連 (随行)。ユーコープからアイスクャンデーと麦茶提供
- * 国際青年リレータスキは民医連

猛暑 (37度) の中、71人が元気に行進

行進参加者は、71人。予想最高気温37度のなか、医労連・民医労から40人、ユーコープからも多数参加、年金者組合、新婦人、地域からも多数の皆さんが大勢参加しました。ユーコープのアイスクャンデーと麦茶提供で熱中症になる人はいませんでした。

甲府市の出発式では、酒井仁市民部総務室長が市長メッセージを代読。猛暑の中の行進を励ましていただき、ペナントを受け取りました。

小越智子県議と清水英知市議も参加、内藤司朗市議がこの日の責任者として取り仕切りました。また原水爆禁止世界大会国際会議に長く参加してきた鈴木章方山梨大名誉教授が紹介されました。

笛吹市で、「署名を進める会が、1000筆超えて集めた」と紹介される

笛吹市では、小澤紀元総務部長から激励と連帯のあいさつとペナントをいただき、県立青少年センターから行進に参加した渡辺正秀市議と河野智子市議を代表して渡辺市議があいさつ、また石和共立病院の池田事務長と民医労の三森さんも感想と決意表明をしました。このなかで、**ヒバクシャ国際署名を進める笛吹市民の会**が笛吹市役所の協力を得て、職員から400筆の「ヒバクシャ国際署名」が集められたことや、保育園・幼稚園の保護者の皆さんから800筆寄せられ、市内、石和地区26区の区長に協力要請をするなど、全市的に署名が推進されていることが紹介され、参加者を励ましました。



甲府市役所を出発（上）
甲府市役所での出発集会（右）